

出張講義

経済

MMT理論から考える日本の借金

担当教員:木村 昭興 教授

日本の財政が危機的な状況であるとして、借金の多さが問題になっています。つまり、日本は、財政赤字になっています。人口減少に伴い、税収が落ち込んでいる一方、超高齢化社会の到来により、社会保障支出が拡大しています。日本は、社会保障支出の拡大を借金で賄っているのが現状です。しかし、借金の多さが、本当に日本の財政を危機的な状況にしているのでしょうか。

現在、お金の専門家の中でMMT理論(現代貨幣理論)が注目されています。MMT理論は、自国でお金を発行できる国では財政破綻することがないと主張する異色の経済理論です。国民から徴収する税金は国の財源と考えられていましたが、MMT理論によると、国民の納税義務がお金の価値を保証するものと考えられています。MMT理論を読み解くことで、日本の借金について考えていきます。

- 受講人数の目安:特になし
- 所要時間の目安:45分程度(調整可)
- 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクター、接続ケーブル、スクリーン、ワイヤレスマイク